

ST 未来創造Ⅱ

金融教育4 「自由競争」は正義か？
～あなたが総理になったら～



観点 2

「格差」が生まれたのは

「自業自得」

「自己責任」か？

「問い」

次の質問に教えてください

- ・ 成績が悪いのは「自己責任」ですか
- ・ 社会に出て、収入が少ないのは「自己責任」ですか
- ・ アルコール依存症になるのは「自己責任」ですか

令和7年度追加版 生徒 意識調査 2年5組用

出題者 丸木克朗
質問数 6

[? 使い方はこちら](#)

全員で回答

編集

回答

結果



「問い」

「自由競争」のメリットとデメリット

両方について、考えられることをできる限り多くあげてください

まず、自分の意見を言語化してカードに記入後
班で話し合い、その結果を書いてください

「自由競争」について

メリット	
デメリット	

完璧に公平な競争社会は天国か地獄か？ ～教育格差を埋めるより大事なこと～

競争社会ということは、要するにライバルに差をつけろという社会なんです。その差の代名詞が「偏差値」だったわけじゃないですか。それが「生まれ」に相関していることを教育格差と呼んでいた。

親ガチャのハズレを引いた子がいますよと。そこにお金を与えて、機会を与えるから、そのチャンスをものにして、能力を高めなさいと。そして貧困の連鎖から抜け出してねって。これ、自己責任化ですよ。社会の歪みのせいでできちゃった格差を埋める責任を、苦しんでいるひとたちの努力に押しつけていいの？

格差はいまの政治課題です。教育で格差を解消しようっていうのは問題のすり替えです。

でも僕がいちばん罪だと思っているのは、こういうロジックが流布することで、子どもたちから学びの喜びを奪ってしまう可能性が高いってことです。

子どもって「いいこと思いついた！」って瞬間に、自ら体験を始めますよね。そのときがいちばん楽しいし、学べるわけじゃないですか。だけど、「この体験にはこういう目的があるんですよ。しっかり非認知能力を伸ばしてくださいね」って言われた瞬間に、やる気なんて失せますよね。

学校で目的を設定された勉強をやらされているからこそ、学校の外で何かを体験することが輝いて見えていたわけです。

タイパよき活動をお膳立てしないとなろくな大人になれない……なんて言説がまことしやかに喧伝されています。「いつまでパイの奪い合いをさせる気なんだ？」ともやもやします。

初期値の違いは、個体差や経済的な差も確かにあります。でもその違いは、いつも個人単位で埋めなければいけないという問題ではない。

違いがあっても、競争ではなく共創によって埋め合えればいい。ごく限られたひとしか「豊かに」暮らせないとの前提に立つような「生き抜く」社会ではなく、「生き合い」をしたって何も罰は当たらないよね？ ……という話を我々はしています。

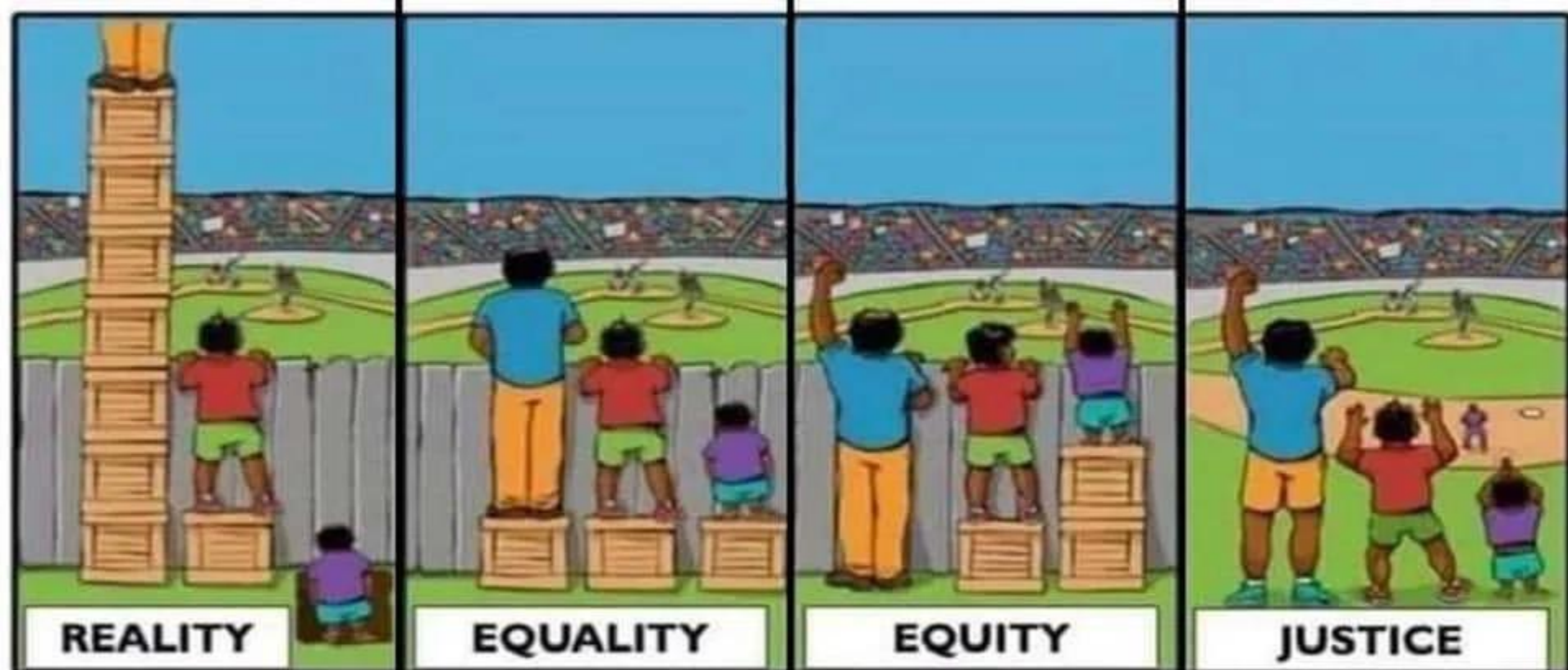
奪うだけが能じゃないですよ。パイを増やすことに叡智を持ち寄りたいです。

これからの教育はかくあるべきだって議論のほとんどは、いかにグローバル社会で勝てる人材を育てるかって話なんですよ。

これだけ分断が進んでいて、いろんなところで戦争が起きているというなかで、「いつまで競争しているんですか？」って。

それをやめないのは、いま勝っている人なんじゃないですかね。勝っているひとは「気持ちいい〜」という状態なので、また次の戦いにすぐに挑みに行っちゃう。

だからビジネス界の成功者たちが教育のことを語りだすと、競争的な教育観を前面に出しちゃうんですよ。



REALITY

EQUALITY

EQUITY

JUSTICE

現実

ある人は必要以上に、一方、他の人は必要以下に。
そうして大きな格差が生まれる状態。

平等

誰もが同じサポートから恩恵を受けることが前提。
これは平等な扱いと考えられる状態。

公平

誰もが必要なサポートを受けることができ、それが公平性を生む状態。

公正

不公平さの原因が解決されたことで、3人ともサポートや融通することなしに試合に参加することができる。
システム上の障壁が取り除かれた状態。

【読み物 資料】 「お金」のシステムがもたらす光と影

お金というシステムを取り入れたことで世界中の人たちとモノを売り買いするようになり、社会は広がった面もあるが、そこに仲間意識のような実感は伴わない。

支え合っていると実感できる仲間の範囲は逆に狭くなったように感じる。

昔は人々が助け合っていた。助け合わなければ生きていけなかった。社会に手触りがあった。自分たちのために働いてくれたことが十分感じられた。子供のうちから自分も働く大人になりたいと思っていた。

ところが現実は違った。子供の頃に思い描いた大人にはなれずにお金の魔力に取り憑かれてしまった。

失敗しながら気づいたこと。儲けること自体を目的にしたら会社は長続きしない。会社が長続きできるのは、社会の役に立っているから。

君のお金は誰のものか 田内 学

【読み物 資料】 「お金」のシステムがもたらす光と影

どら焼きを200円で手に入れたと感じるか、菓子屋のおばちゃんが作ってくれたと感じる違い。おばちゃんが自分の内側か外側か、自分の意識次第。お金の奴隷になっている人ほどこの範囲が狭くなる。

そうなると、自分の生活を支えるのはお金とってしまう。全てが他人事になり、お金を増やすことしか考えなくなる。「僕たち」を広く感じられることが大切。その範囲を一番広げられるのは、目的を共有すること、すなわち未来を共有すること。そして、人を愛すること。

お金のために働いていると思っていたときは味方のいない世界で一人で生きている気がしていたが、誰かのために働いているって考えると世界が広がって見える。

君のお金は誰のものか 田内 学

観点3

格差解消の力ギ

「腐るお金」



「賃金成長率」より「資産運用の利回り」の方が大

⇒「資産のある人」が絶対に有利

「腐るお金」が経済を活性化し、格差や支配を是正する

武井 右肩上がりの経済成長に限界が来ているいま、お金の捉え方を再定義していく必要があると思います。僕は、再定義のポイントは「お金の使用期限」にあると考えています。食べ物や道具と違って、お金は長く保有しても腐ったり壊れたりして価値がなくなることはありません。そのため、将来に備えて貯金しておけます。

しかし、それがいきすぎると、お金を所有すること自体が目的化してしまう。そして、金融資本主義によって、お金を持つ者にさらにお金が集まってきます。こうして資本家と呼ばれる人たちが、実質的な労働はせずともお金を稼ぎ続け「格差」が広がります。

加えて、お金は「支配」も助長します。なぜなら、お金で本質的に交換しているものは、商品やサービスの裏にある人の労働力だからです。お金を多く所有する人が、より多くの人を支配できるようになっていきます。

＊格差と支配を助長するお金を再定義するポイントが「使用期限」というのはどういうことですか？

武井 お金に使用期限があれば、こうした問題は解消される可能性があるということです。実際に、時間とともに価値を失うお金「エイジングマネー（腐るお金）」が考案されました。このお金のいいところは「貯める」ことよりも「使う」ことにインセンティブが働くことです。その結果、お金が循環して格差は是正されやすくなる。

実際、世界恐慌の際には、オーストリアでエイジングマネーを導入して経済を復活させました。

お金に使用期限ができれば、格差や支配のもととなる「所有」が抑えられ、その代わりに循環が生まれることは実証されました。より多くの人々が豊かになれます。

【読み物 資料】 **お金を使うのは投票と同じ！？**

消費とは使ってなくすという意味です。お金も使うとなくなるので、お金を使うことを「消費する」、お金を払う人のことを消費者といいます。

選挙権のある人は選挙のときに「この人なら安心して任せられる」と思う政治家に一票を入れて、応援します。これをくり返すことで世の中を少しずつ変えていくのが選挙のしくみです。

私たちの消費、つまり買い物も選挙に似ています。私たちは「この商品よさそう」「このサービスはありがたいな」などと思って、買い物をします。それはその商品やサービスを提供している会社に一票を入れて応援することと同じです。「いいな」と思うものにお金を使い、「よくないな」と思うものにはお金を使わない、それがくり返されることによって、世の中は少しずつ変わっていくのです。

- みんなでお金を貯めることは、将来の備えにはならない
- お金は移動しているだけで、全体のお金は増減しない
- 「お金自体は価値がない」「お金で解決できる問題はない」
⇒「みんなでお金を貯めても意味がない」
- 過去の蓄積の上に「僕たち」は生活している
国が借金したお金は、誰かの財布の中に
全体の預金が増えるのは誰かが謝金してるから
- 世界は贈与でできている

君のお金は誰のものか 田内 学

観点 4

格差解消の力ギ

「市場原理」 対 「公」

「問い」

あなたの班が政党になったつもりで、次の課題の対応を考えてください

どのような日本の未来のビジョンを具体的に描いているのか

- ・ 小さな政府＝税金は少なく、市場原理に任せて「公」の事業は極力少なくする
- ・ 大きな政府＝税金を多くして、子育て・教育・医療・介護などの負担を少なくする。どのような税金をどのような割合で徴収するか？など

上記を中心に、どのような方針で政策を立てますか
発表後にみなさんに投票してもらうことで評価します

政党名	(班)
目指す日本のビジョン 大きな政府、小さな政府その理由等	
その他政策	

「奪い合う経済から、分かち合う経済へ」“共感資本社会”

武井 経済を動かす動機を「損得」から「共感」に変えたい。資本主義社会はすべての根底に損得があります。損得で成り立つ経済とは「交換経済」です。要するに、割に合うから行動して、割に合わないなら行動しない世界です。でも、それだけだと、ビジネスとして成り立ちづらい領域の社会課題は、一向に解決されません。

こうした領域の活動を持続するための原動力は何かを考えたとき、「損得を超えた共感」だと僕らは結論づけました。「それ楽しそう！」「応援したい！」というポジティブな感情のエネルギーを活動につなげていくことができれば、損得の世界では解決できなかった問題も解決できるはず。こうした資本主義社会に代わる新しい社会の形を、「共感資本社会」と呼んでいます。

これからの時代はコモンズが重要になる理由

武井 一つは、コモンズに所属することが、人のウェルビーイングを高めるからです。利用者としてサービスを受けるだけでなく、自分自身も生産者となって、仲間と一緒に何かを生み出す体験はそれだけで楽しいですし、社会関係資本を築くことにもつながります。孤独は喫煙と同じくらい体に悪いという研究もあるように、社会関係資本が増えればウェルビーイングも向上すると考えられます。

また、所有の概念を薄めることによって、様々な社会課題の発生を防げることも考えられます。資本主義はお金などの私的所有物を増やし続けるゲームです。そのゲームのなかでは、経済資本が社会関係資本や自然資本よりも優先される。その結果、環境破壊や人の心身の不健康、家庭環境の崩壊などを引き起こしてきたのが、これまでの経済です。

そうならないためには、所有を集中させないコモンズを増やしていくような、社会全体をコモンズ化することが必要だと思います。

eumo代表・武井浩三さんに聞く、共感資本社会における経営論

參考資料

「問い」

これまでに学んだことを総合して

あなたにとって「お金」とは何だと思えますか？

「お金」に対して、どのように向き合って(どのような心構えを持って) いきたいと思えますか？

- 「働く」とは、お金を稼ぐことではなく、誰かの役に立つこと
- お金によって社会は広がったが、「僕たち」と感じられる範囲は狭くなった
- 目的を共有すれば「僕たち」の範囲は広がる
- 「僕たち」の範囲を一番広げられるのは、未来を共有すること

【読み物 資料】 お金をどんどん刷れば良い？

(前略)

「その通りや。お金を払うというのは、自分で解決できない問題を他人にパスしているだけなんや。しかし、僕らはお金を払うことで解決できた気になってしまう」

(中略)

「貿易赤字って、外国にお金 that 流れるのが悪いんでしょ。だったら、お金を印刷しちゃえばいいんじゃないですか」

「おもしろいアイディアやな。せやけど、問題は国内にある日本円が足りなくなることやない。外国が日本円を大量に持つことや」

君のお金は誰のものか 田内 学

【実話】宝くじが当たって150億円を手に入れた男性の末路

ジャックが賞金を手にしてから2年も経たないうちに、ジャックの孫娘が死んでいるのが発見された（薬物の過剰摂取によるものと見られている）。妻とは疎遠になり、ジャックはギャンブルや娼婦に湯水のごとく金を使った。結局、賞金はすべてなくなった。

「なんだ、宝くじの当選者が道を踏み外したというよくある話か」と思ったかもしれない。だが、ジャックのケースは少しばかり話が違う——彼は、すでに金持ちだったのだ。

そう、人生を変える宝くじを買う前から、ジャックには1700万ドル以上の資産があった。ウェストバージニア州の請負会社社長として事業で大きな成功を収め、すでに多額の報酬を得ていた。

このエピソードを紹介したのは、十分な良心、経歴、分別のある人でさえ、お金で人生を破綻させることがあると伝えたかったからだ。

ニック・マジューリ

【実話】宝くじが当たって150億円を手に入れた男性の末路

ジャック・ウィテカーは悪い人間ではなかった。妻と孫娘を愛していたし、宝くじに当選した直後に、非営利財団の設立資金として数千万ドルも寄付していたくらいだ。

それでも、誘惑には勝てなかった。お金にはこれほどまでに、人を変えてしまう魔力がある。

皮肉にも、ジャックがすでに自分が十分に裕福だと気づいていたら、こんなことにはならなかっただろう。ジャックは自分のことを金持ちではないと思っていた。なぜそれがわかるか？

1700万ドルもの資産を持っていたのに、宝くじを買っていたからだ。ジャックは人一倍貪欲な男だったといえるのかもしれない。だが私は自身の経験から、人は自分の豊かさに気づくのが困難なことを知っている。

「お金」に関する3つの「謎」

- 1 「お金」自体に価値はあるか？
- 2 「お金」で解決できない問題はあるか？
あるとすれば、それはどんな問題か？
- 3 みんなで「お金」を貯めることにどんな意味があるか？

【読み物 資料】

世界は贈与でできている

宮崎県在住の40代読者・Yさんは、複雑な家庭環境で育ち、幼いころは辛い日々を過ごしていたという。

そんな彼女の心の支えになったのは、小学生の時に泣き叫ぶ彼女に声をかけてくれた、母親ほどの年齢の女性の存在だった。

Yさんはその人に、感謝の気持ちを伝えたいと考えている。

<Yさんの体験談>

小学生時代の私は他人とのコミュニケーションが全くできなくて、人一倍無口で大人しく、友達もいない日々を送っていました。

学校へ向かう登校班はあるものの、帰りはいつも一人。その日も、放課後一人で帰宅していました。

大好きな空想をしながら、下を向き歩いていると、地面へダイブするように、思いきり顔から転倒。突然の出来事で動けず、座り込んだままに。顔が痛いと思って手でおでこを触ろうとした瞬間、ぬるっとしたものが鼻のあたりを流れました。鼻血です。

膝も痛かったのを見ると、すりむいて血が出ていました。出血量もとても多かったと記憶してます。

下校中に転んでけがをして...私は声を張り上げ、泣き叫びました。

すると、目の前にあった家から女性がでてきました。玄関に招き入れられて... 「あらら、どうしたの？ 大変！ こちらへいらっしゃい」私が怪我をしていることに気付くと、女性は私を玄関に招き入れ、そこに座らせました。

そしてお湯を張った洗面器やタオル、消毒液、脱脂綿などを持ってきてくれて、私の顔を何度も丁寧に拭き、鼻血が止まるまで詰め物を何度も替えて、大きくすりむいて出血もある膝も処置してくれたのでした。時間にすると、1時間程だったと思います。

私は血まみれでしたから、玄関は血で汚れてしまっていました。とんでもないことをしてしまった。そんな思いで頭がいっぱいになりました。家族に言えないまま、数十年が過ぎ...
というのも当時、両親は不在がちで、私の面倒を見てくれていたのは、それはそれは厳しい祖母でした。

だから、こんなことをして帰宅したら叱責される、と思ったのです。私はお礼も言えないまま、泣きながらその家を去りました。手当をしてくれた女性は、私を心配そうに見送ってくれましたが、私はその日あった出来事を家族に言う事ができませんでした。

心配してくれた女性にお礼も言えず、中学生になり、一人でお礼を言いに女性のお家へ参りましたが、何度うかがってもご不在でした。あの時、一言でも家族に伝え一緒にお礼を伝えに行っていたら、と結婚して地元をはなれ40代になった今でも時々思い出します。

複雑な家庭環境で精神的につらい幼少期でしたが、母親くらいの年齢の見知らぬ女性に親切にしてもらえた経験が、その後の私の心の支えになっていました。

あなたのお陰で私は少しだけ前を向くことができました。
本当に、ありがとうございました！

「問い」

今後、日本の年金額は徐々に減少することが予想される。そのために、みんなでお金を貯めておくことが大切だと思われる。

しかし、みんなでお金を貯めるだけでは、問題は解決しないのではないかという指摘がある。

なぜだろうか？理由として考えられることをあげよ